

# 本校の先輩達

## 学校プール建設にまつわる話

～5年越しの地域要望が実り実現した  
荘原小学校のプール施設～

平成最後の夏は大変な酷暑となり、連日35℃を超える日が続きました。この暑さのため、地区開放プールも熱中症が心配されるため中止となりました。

本校のプールは、昭和48年7月21日の竣工式・プール開き以来、45年が経過しました。その間、コンクリート劣化による漏水もあり、平成23年7月14日から8月末にかけて改修工事を行い、現在に至っています。

昭和40年代に荘原小学校に通った児童も、ほとんどが斐川東中学校へ出かけての水泳学習や、夏休み期間中の新建川等の地区内河川に設けられた指定区域での遊泳を経験していらっしゃると思います。

昭和43年6月24日、荘原小学校・幼稚園プール建設促進期成会により、町当局に対してプール建設の陳情書が提出されました。期成会は、地区選出町議会議員、大字代表自治委員、PTA代表、学校代表等により組織されていました。主たる陳情理由は、荘原地区は斐伊川から遠く、また地区内河川も中州形成や雑草繁茂、農薬の河川流入等、遊泳場所の確保が難しい環境のため、夏休み期間中に数回遠く海水浴へ出かける程度であること。加えて、水泳技能習得は生命の安全確保にとっても大切な役割であることが訴えられていました。

しかし、この時期は斐川町西部5校を2校とする学校統合が進行中でした。仮称：西小学校（現在の西野小学校）の敷地獲得と造成事業に3,800万円、中部小学校の校舍50%分の建築事業に4,800万円が昭和44年度町予算の重点施策として計上されることになりました。

期成会では、この時期にプール建設の実現は困難と判断、やむなくその年の12月16日に陳情書の取り下げが行われました。昭和48年度の町予算に荘原小学校・幼稚園のプール建設事業費1,468万円が盛り込まれるまでに5年の時間が必要でした。プール建設は、5月23日着工し7月22日に完成しました。

この頃の荘原小学校の教育環境は、昭和43年2月の屋内運動場の竣工、昭和48年7月のプール竣工、昭和51年6月の校舍改築工事の竣工と、地域住民の学校教育に対する熱い要望をもって、大きく環境整備が進みました。



【▲昭和48年プール建設工事の様子】